

(第3種郵便物認可)

“鉄道專業”で再出発

ファンの中で根強い人気を誇った灘区高德町4のプラモデル販売店「六甲模型教材社」が9月、鉄道模型専門店として新たなスタートを切った。1953年に創業。豊富な品数と在庫をそろえ「模型のデパート」と呼ばれ、関西を中心に客を集めたが、レジャーの多様化などによる販売不振のため専門化を決めた。床次康男店長(55)は「これも時代の流れ。これからは、鉄道の奥深さを知らせていきたい」と話す。(横田良平)

灘区 同社は床次さんの父、仙次さんが創業。当初は木工製品を扱い、次第にプラモデルに転換した。「関西一の品そろえ」とファンに親しまれた。ピークは、ミニ四輪廠

プラモデル販売 半世紀の歴史に幕

六甲模型教材社「作る楽しみ提供続ける」



動車や、ガンダムシリーズが、ブームが去ったこと
 スが流行した八〇年代。や新商品の不振などで、
 正月も休まず営業し「子どもが、お年玉を握りしめて買いに来てくれた」
 と床次さんは懐かしむ。阪神・淡路大震災で店が全壊。翌年に再開した

鉄道模型を眺める床次康男さん。専門店として、新たなスタートを切った「灘区高德町4」

ねる客がいる。床次さん「愛着を持ってくれた人がいかに多かったか初も続けたかったが」と床次さん。「鉄道は根強い各社の鉄道模型や、駅の改札や架線など細部にこ